



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6145 URL <http://www.nittoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 磯田 博 (TEL) 048(837)2011  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,401	10.6	683	58.6	698	39.3	491	40.9
29年3月期第1四半期	4,882	△1.4	430	—	501	758.5	349	36.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 685百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △117百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	27.23	—
29年3月期第1四半期	19.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	37,647	23,438	62.1
29年3月期	33,695	23,006	68.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 23,376百万円 29年3月期 22,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	22.9	1,800	44.9	1,830	36.4	1,300	42.1	71.95
通期	25,500	9.5	3,150	9.6	3,200	6.9	2,300	3.2	127.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	18,098,923株	29年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	30,969株	29年3月期	30,969株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	18,067,954株	29年3月期1Q	18,068,173株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、景気回復への期待と慎重な観測や分析が並行する中であって、インターネット、コンピュータ、電子機器、IoTの進化、ロボット、AIの研究開発、自動車EV化の競争は、各国政策も含めて加速しました。

これらの加速には、電子部品、IoTデバイスやモーターシステムの開発が不可欠であり、それらハードは、コイルがキーパーツとなります。そして、これらをキーパーツとする製品・部品の生産は、省人あるいは微細・精密対応、安定生産、品質安定を目的にFA化志向が色濃くなりました。また、汎用設備の場合は、購入したメーカーが品質を創出しますが、当社グループの主力製品の大半は、アウトプットする製品・部品の品質を創出するための精密FAラインであり、当社グループは、生産物の特性のみならず生産に用いられる材料の知識までを習得して設備開発を行う、生産技術の代行が必要になります。これらによって、電子部品、IoTデバイスやモーターシステムに関するハードのメーカーのニーズはいわゆる「ターンキーソリューション（購入したメーカーがキーを捻うだけで生産がスタートする設備の提供）」へ変化しています。

このため当社グループでは、コイル関連技術を応用した設備開発、材料知識の習得、必要に応じたオープンイノベーションやアライアンス、M&Aも活用してFAライン・機器・システムの開発などを行い、また、ターンキーソリューションの一環として顧客をサポートするグローバルサービス網を展開しています。

こういったターンキーソリューションの精密FAラインを一体で作上げられるメーカーは希少であり、近時、世界各国の電子、電機、自動車などのトップクラスのメーカーからの受注が急増し、前年同期比でみると、自動車分野で倍増、情報通信分野で7割増、AV・家電分野で4倍増となりました。

また、これらの精密FAラインは、ユーザーごとのオーダーメイドであり、それぞれの仕様決定ごとに設計、調達、加工、組立、調整の大半を技術者が行います。その技術、ノウハウは長年の蓄積による人基軸の生産方式であり、現在、人材確保及び育成、ビジネスパートナーやサプライヤーの増強、設計や部品の標準化や共通化といった施策を鋭意進めています。同じく、国内にある中小生産設備メーカーの技術を当社グループとのオープンイノベーションやアライアンスも強化することで能力増強、FA領域の拡充を図っています。

加えて、変化するメーカーのニーズを着実、かつスピーディーに満足させるため、当連結会計年度の研究開発計画は前年度実績比倍増の約10億円とし、制御やFAシステムの開発、設備開発を最終目的としたEVモータの開発などをさらに進め、世界的に急拡大するスマートファクトリー設備のリーディングカンパニーとなる精密FAメーカーを目指しています。

これらの結果、売上高は54億1百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は6億83百万円（前年同期比58.6%増）、経常利益は6億98百万円（前年同期比39.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億91百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「巻線機事業」としていた報告セグメントの名称を「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### (ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当第1四半期連結累計期間の売上げでは、情報通信分野では、スマートフォンを中心とした電子部品メーカー向けのスピーカやレシーバモジュール、パワーインダクタ等の製造用設備ラインが、また、自動車分野では、EPSやABS用のモータ製造設備ラインの売上げが堅調に推移しました。他方、受注では、前述の売上げ内容に加え、AV・家電分野で家電用モータ製造設備ラインが、産業機器分野ではコネクタ組立ラインが順調に推移しました。

これらの結果、全売上高の約93%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、前述の結果、連結売上高は50億21百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益（営業利益）は8億15百万円（前年同期比30.2%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は74億32百万円（前年同期比76.4%増）、売上高（生産高）は45億43百万円（前年同期比9.6%増）、当第1四半期末の受注残高は163億55百万円（前年同期比98.3%増）となりました。

(非接触 I C タグ・カード事業)

当第1四半期連結累計期間では、I Dカード、生産管理用 F A タグの売上げが堅調に推移しました。また、受注では、生産管理用 F A タグのほかクレジットカードが順調に推移しました。

これらの結果、非接触 I C タグ・カード事業におきましては、連結売上高は3億79百万円(前年同期比47.0%増)、セグメント利益(営業利益)は1億14百万円(前年同期比272.7%増)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は4億58百万円(前年同期比3.3%増)、売上高(生産高)は3億79百万円(前年同期比47.0%増)、当第1四半期末の受注残高は4億77百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比39億38百万円増加し、303億77百万円となりました。これは主として、現金及び預金が19億69百万円、仕掛品が25億68百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比14百万円増加し、72億70百万円となりました。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比39億52百万円増加し、376億47百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比34億58百万円増加し、136億32百万円となりました。これは主として、電子記録債務が11億32百万円、前受金が28億74百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比61百万円増加し、5億76百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が53百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比35億19百万円増加し、142億8百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比4億32百万円増加し、234億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表したとおりであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,467,653	15,437,228
受取手形及び売掛金	6,321,167	5,939,944
仕掛品	5,128,043	7,696,995
原材料及び貯蔵品	600,158	610,293
繰延税金資産	261,728	176,943
その他	704,095	554,103
貸倒引当金	△43,741	△38,377
流動資産合計	26,439,105	30,377,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,846,683	2,031,235
機械装置及び運搬具（純額）	546,344	522,822
土地	691,468	700,297
その他（純額）	506,470	350,593
有形固定資産合計	3,590,966	3,604,949
無形固定資産		
のれん	33,926	30,156
その他	158,289	155,102
無形固定資産合計	192,215	185,259
投資その他の資産		
投資有価証券	2,616,369	2,593,949
その他	856,440	886,383
投資その他の資産合計	3,472,810	3,480,332
固定資産合計	7,255,992	7,270,541
資産合計	33,695,098	37,647,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,126,182	2,754,815
電子記録債務	3,777,497	4,909,555
未払法人税等	558,465	173,333
前受金	1,496,269	4,371,036
賞与引当金	459,060	293,534
その他	756,131	1,129,889
流動負債合計	10,173,608	13,632,165
固定負債		
繰延税金負債	212,331	265,980
退職給付に係る負債	98,402	105,962
その他	204,706	204,706
固定負債合計	515,440	576,650
負債合計	10,689,048	14,208,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	12,602,186	12,841,195
自己株式	△23,937	△23,937
株主資本合計	22,005,232	22,244,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	571,936	699,861
為替換算調整勘定	424,857	483,388
退職給付に係る調整累計額	△53,869	△50,938
その他の包括利益累計額合計	942,924	1,132,311
非支配株主持分	57,893	62,305
純資産合計	23,006,049	23,438,858
負債純資産合計	33,695,098	37,647,673

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,882,927	5,401,030
売上原価	3,508,933	3,716,705
売上総利益	1,373,993	1,684,325
販売費及び一般管理費	943,279	1,001,193
営業利益	430,713	683,131
営業外収益		
受取利息	8,253	17,652
受取配当金	16,235	14,946
為替差益	30,192	—
その他	19,948	14,322
営業外収益合計	74,630	46,920
営業外費用		
為替差損	—	15,685
固定資産売却損	1,180	13,886
その他	2,741	2,176
営業外費用合計	3,921	31,748
経常利益	501,423	698,304
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25,107
特別利益合計	—	25,107
税金等調整前四半期純利益	501,423	723,412
法人税、住民税及び事業税	82,090	145,591
法人税等調整額	71,729	82,039
法人税等合計	153,819	227,630
四半期純利益	347,603	495,781
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,633	3,821
親会社株主に帰属する四半期純利益	349,236	491,959

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	347,603	495,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,367	127,924
為替換算調整勘定	△403,841	59,121
退職給付に係る調整額	12,584	2,931
その他の包括利益合計	△464,625	189,978
四半期包括利益	△117,021	685,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,212	681,347
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,809	4,412

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,624,704	258,222	4,882,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,624,704	258,222	4,882,927
セグメント利益	626,622	30,857	657,480

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	657,480
全社費用(注)	△226,766
四半期連結損益計算書の営業利益	430,713

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,021,370	379,660	5,401,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,021,370	379,660	5,401,030
セグメント利益	815,888	114,999	930,887

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	930,887
全社費用(注)	△247,756
四半期連結損益計算書の営業利益	683,131

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「巻線機事業」としていた報告セグメントの名称を「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。